

# 吹田市地域医療推進懇談会

## 今年度の進め方

# 吹田市地域医療推進懇談会の概要

## 1 背景

本市では、今後一層の進展が見込まれる高齢化に対し、医療や介護が必要となっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

今後、在宅医療の需要が大幅に増大する等の課題が顕在化することが想定されることから、地域包括ケアシステム構築の一環として、また大阪府医療計画を推進する立場から、在宅医療・介護連携のみならず、医療需要に見合った必要な在宅医療の環境づくり等を推進するために、医療提供主体における課題に対し、具体的な対応等について、医療関係者を中心に議論をしています。

## 2 内容

### 1 在宅医療推進の環境づくり

- 日常的な療養支援
- 急変時支援
- 退院支援
- 看取り

### 2 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・ かかりつけ薬剤師（薬局）の定着促進

## 3 その他

「吹田市在宅医療・介護連携協議会（福祉部高齢福祉室所管）」と連携のうえ  
推進

# 在宅医療推進に係る関係会議体

豊能医療圏

## 大阪府豊能保健医療協議会（大阪府地域医療構想調整会議）

報告

豊能医療病床  
懇話会

豊能在宅医療  
懇話会

豊能救急  
懇話会

豊能精神医療  
懇話会

豊能薬事  
懇話会

豊能歯科保健  
懇話会

吹田市

### 吹田市 地域医療推進懇談会

#### 吹田市の地域医療の向上と連携

- 1 在宅医療推進の環境づくり
- 2 かかりつけ医等の定着促進

作業部会

【健康医療部 保健医療総務室】

### 吹田市在宅医療・介護連携推進協議会

#### 国が定める在宅医療・介護連携推進事業

- 1 地域の医療・介護の資源の把握
- 2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- 3 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
- 4 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 5 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 6 医療・介護関係者の研修
- 7 地域住民への普及啓発
- 8 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

役割分担  
連携

吹田市ケアネット実務者懇話会

作業部会

【福祉部 高齢福祉室】

医療需要に見合った在宅医療の推進・・・保健医療総務室  
在宅医療と介護の連携・・・高齢福祉室

現状と課題

対策の方向性

1在宅医療推進の環境づくり				2かかりつけ医等の定着促進
①入退院支援	②日常の療養支援	③急変時の対応	④看取り	
<p><b>◆入退院時における連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響により、退院時カンファレンスが減少</li> <li>・病院医師や病棟看護師の、在宅医療のイメージや具体的内容への理解が十分でない</li> <li>・診療所医師の在宅医療を支えるしくみ（サブアキュート、後方支援病院等）への理解・活用が十分でない</li> <li>・病診及び病院看護・訪問看護の、入退院時における適切な情報共有による在宅を見据えた円滑な入退院支援の実施の必要</li> <li>・病院医師や病棟看護師の在宅医療・在宅療養への理解促進</li> <li>・サブアキュート・ポストアキュートの理解と活用の促進</li> </ul>	<p><b>◆将来に向けた在宅医療提供体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人体制の診療所が多い(全体の約3/4)</li> <li>・訪問診療を実施していない理由は、外来診療で手一杯、負担感が大きいなどが多い</li> <li>・訪問診療実施診療所の中にも、専門外の診療や看取り対応への不安感あり</li> <li>・訪問看護の人員不足、人材育成、他事業所とのつながりが課題</li> </ul> <p><b>◆日常の療養における連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問診療医のうちICTの活用23%（うち在宅支診でない診療所はICT活用なし）、訪問看護STは66%</li> <li>・グループ診療等、協力体制がある診療所もある一方、協力体制がない、医師の考えの相違で連携が難しいとの声もあり</li> <li>・診療所医師の在宅医療への理解促進</li> <li>・訪問診療医同士の連携体制構築の必要</li> <li>・訪問診療医と訪問看護のさらなる連携が必要</li> <li>・薬剤師・歯科医との連携促進が必要</li> </ul>	<p><b>◆後方支援を行う医療機関の充実と急変時における連携強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時の入院受入調整が難航する場合がある（高齢者のDNARなど）</li> <li>・1人体制の診療所では、外来対応中や休日夜間の24時間対応に困難さがある</li> <li>・事前に患者情報があると急変時の受入れがスムーズな傾向にある</li> <li>・後方支援病院等の理解・活用が十分でない</li> <li>・急変時の受入体制について、事前の病診による連携体制の構築の必要</li> <li>・本人の意思に反した救急搬送を防ぐため、あらかじめ急変を想定した患者家族への説明</li> </ul>	<p><b>◆在宅看取りを行う医療提供体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看取りを希望する患者家族が増加</li> <li>・在宅支診でない診療所の多くは24時間対応が難しく看取りを実施していない</li> <li>・診療所医師の看取りに関する知識・イメージ・経験が少ない</li> </ul> <p><b>◆人生会議(ACP)の普及の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問診療医の2割弱がACPを実施したことがない</li> <li>・診療所医師の看取りに関する理解促進</li> <li>・市民及び在宅医療に関わる関係者への人生会議(ACP)の更なる普及啓発が必要</li> </ul>	<p><b>◆病院と診療所の連携促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急性期病院と回復期病院等、病院の機能を踏まえた連携が十分でない場合あり</li> <li>・病院とかかりつけ医との連携が十分でない場合あり</li> </ul> <p><b>◆市民のかかりつけ医に関する意識</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関に役割分担があることを知っている割合は約5割</li> <li>・かかりつけ医がいる割合は約6割</li> <li>・選定療養費を払ってでも大病院に行きたい人が多い（大病院志向）</li> <li>・病院の機能に応じた連携の更なる病病連携の促進（ポストアキュートの理解・活用）</li> <li>・かかりつけ医と病院との循環型医療連携の促進</li> <li>・病床機能やかかりつけ医等に関する市民理解の促進</li> <li>・かかりつけ医を中心とした在宅医療の促進</li> </ul>
<p><b>1在宅医療の推進及び在宅医療を支える連携体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の在宅医療への負担軽減のための連携対策（訪問診療医と訪問看護の連携体制 など）</li> <li>・かかりつけ医等による在宅医療の充実</li> <li>・訪問看護の推進（関係機関間・訪問看護事業所間・病院看護と訪問看護間の連携体制、災害への備え など）</li> <li>・病病・病診連携の促進 など</li> </ul> <p><b>2医療関係者等の理解や知識・スキルの向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療や在宅療養（特に病院職員の在宅医療に関する理解促進）、看取り、人生会議等についての理解促進</li> <li>・医療関係者等のスキル向上に向けた取り組みの在り方についての検討 など</li> </ul> <p><b>3市民への啓発・情報提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療、看取り、人生会議、かかりつけ医、上手な医療のかかり方等の市民啓発についての検討 など</li> </ul>				

<参考資料> 令和2年度 医療に関する市民アンケート（吹田市）  
 令和4年度 吹田市在宅医療に関するアンケート調査  
 令和5年度 訪問看護の実態調査（吹田市）

# 3 令和5年度の取組

懇談会 2回開催

## 1 在宅医療の推進及び在宅医療を支える連携体制の構築

- 在宅医療を支える連携体制のあり方（第1回目）  
病院との連携、訪問看護との連携
- 病院看護師と訪問看護師の連携のあり方（第1回目・第2回目予定）
- 訪問看護事業所間のネットワークづくり（第1回目・第2回目予定） 等に関する検討

## 2 医療関係者等の理解や知識・スキルの向上

- 診療所医師に対する在宅医療の理解促進に向けた取組の検討（第1回目）  
在宅医療の具体的なイメージ、在宅医療を支える医療体制等
- 病院職員に対する在宅医療の理解促進に向けた取組の検討（第2回目予定）
- 「私の思い記入シート」リーフレット活用研修会の開催（ACPの理解促進）（R6.1予定）

## 3 市民への啓発・情報提供

- ACP・在宅医療の推進に係る啓発（出前講座等）（随時開催）
- 上手な医療のかかり方講演会（R6.2予定）